

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5611 地域・同時代を撮る1			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	15
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜2限				
教室	E302(メディア室6)				
代表教員	飯田 基晴				
担当教員	飯田 基晴				
テーマと到達目標	和光大学周辺の環境やコミュニティ、文化、歴史、人物を取材して、映像作品の制作に取り組みます。各自で企画を考え、撮影・録音・編集を学びながら、グループで作品を制作します。人と出会い、調べ、まとめることで、自らの好奇心や疑問点を探求し、物事を深く考える力、表現する力を身に着けることが目標です。そして共同作業を通して他者を知り、自分を知る体験をしてください。				
概要	大学周辺のリサーチを経て、受講生各自が企画を考え、プレゼンテーションを行い、その中から実際に取り組む企画を選びます。また、ビデオカメラを使った基本的な撮影とビデオ編集を学び、自分たちで撮影と編集を行い、10分前後の作品を完成させます。授業以外の時間に、リサーチや企画書作成、撮影や編集、文字起こしなど、各自で取り組む作業が多くあります。通年で制作をするので、前期のみや後期のみ受講は認めていません。実習科目なので作業状況に応じて進行を変えることがあります。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション 過去作品上映				対面授業
第2回	取材の基本、企画について				対面授業
第3回	岡上地区フィールドワーク				対面授業
第4回	周辺地域フィールドワーク				対面授業
第5回	図書館にて資料収集				対面授業
第6回	撮影機材の使い方				対面授業
第7回	撮影実習				対面授業
第8回	編集ソフトの基本操作				対面授業
第9回	編集実習				対面授業
第10回	企画報告				対面授業
第11回	企画会議・プレゼンテーション				対面授業
第12回	企画とグループの決定、討論				対面授業
第13回	撮影取材1				対面授業
第14回	撮影取材2				対面授業
第15回	ラッシュ試写				対面授業
成績評価の基準	出席状況、授業への参加姿勢、課題への取り組み、完成作品を総合的に判断して評価します。				
履修にあたっての留意事項	定員15名。通年で制作するため 前期のみ、後期のみ履修は認めていません。少人数で1年をかけて自発的に取り組む、ゼミのような授業です。複数年の重複履修も可です。フィールドワークや取材時は動きやすい服装で参加してください。撮影機材は学科所有のものを使い、編集はメディア室のMacか、各自が所有するパソコンで行います。 映像制作経験の有無は問いませんが、この授業で教える撮影・編集の技術は初歩的なことに限られます。併せてぜひ「映像制作基礎1」も履修してください。また映像作品への理解や社会への理解を深めるため、「映像文化論1,2」と「映像と現代社会1,2」の履修を奨励します。 映像制作研究ゼミを志望する学生は、ぜひ1～3年時にこの「地域・同時代を撮る」を履修してください。映像制作研究ゼミのプロゼミ、サブゼミという面もあります。 私自身、長らく映画・映像制作に取り組んできました。この授業は、実務経験のある教員による授業です。その経験を生かした技術をレクチャーします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	T学科の低学年から順に優先
---------------------	---------------

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	SDカード（撮影用・64GB以上・1,000円～）、イヤホン（撮影・編集用・1,000円～）、ポータブルSSD（編集用・USB接続・250GB以上・exFATでフォーマット・3,000円～）※初回授業時に詳細を説明します。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	「大学生のための動画制作入門 言いたいことを映像で表現する技術」黒岩亜純・宮徹著/2017年/慶応義塾大学出版会	参考文献(ISBN)	